

令和5年度 第2回 香南市地域公共交通会議

議事録

- 日時：令和5年8月31日（木）14時00分～15時05分
 - 場所：香南市役所本庁 304・305・306 会議室
 - 出席委員：別府誠（香南市副市長）、今西俊雄（（有）平和観光）、中村光明（（株）のいちタクシー）、山本倫世（（有）さくらハイヤー）、松山明夫（（社）高知県バス協会）、金谷正文（代理：鈴木勝也 土佐くろしお鉄道（株））、横山郁夫（香南市社会福祉協議会）、吉田雅彦（住民・利用者代表）、山中節子（住民・利用者代表）、宮野広至（四国運輸局高知運輸支局）、山本圭（代理：古川歩 四国運輸局交通企画課）、西内裕晶（高知工科大学）、秋山亘稔（南国警察署）、太田豊（代理：大北幸平 土佐国道事務所）、坂本桂（高知県交通運輸政策課）、門脇佐代子（香南市教育委員会）、都築敏夫（香南市高齢者介護課）
 - 欠席委員：坂本泰資（高知東部交通（株））、野島康博（（有）野島ハイヤー）、山中敦志（高知県中央東土木事務所）
 - 事務局等：弘田満紀、小川哲弘、宮崎遼（地域支援課）
土居貴之（合同会社えこ・まち研究室）議事録作成
-

開会

事務局より、委員20名の内17名が出席であり、会議が成立していることを報告。

1. 会長挨拶

昨年度より検討及び協議をすすめてきた市営バスの再編と予約式乗合タクシーの運行がいよいよ本年10月より開始する。予約式乗合タクシーは一ヶ月間の試験運行を行い本格運行に移行していく。

本日は運行概要を確認いただくとともに、国の補助事業を活用するために必要な協議をお願いしたい。

2. 報告事項

(1) 市営バス及び予約式乗合タクシーの運行について

事務局より資料1：市営バス及び予約式乗合タクシーの運行についてを説明。

資料P3（有）のいちタクシーは（株）のいちタクシーの誤りである。お詫びして修正する。

予約式乗合タクシーの試験運行期間中は運賃無料として運行を行う。

意見、質問等無し

3. 協議事項

(1) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について

事務局より資料 2-1：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について、資料 2-2：別表資料、資料 2-3：香南市 市営バス・予約式乗合タクシー運行概要について説明。

○ 西内委員（高知工科大学）より質問及び意見

資料 2-2 P3 の交通不便地域の区分図について、旧吉川町ではなく旧吉川村ではないか。旧野市町についても文字だけでも入れたらいいのではないか。

⇒ 事務局より回答

旧吉川村が正しい。修正する。

資料 2-1 の認定申請書は、国に提出をすると市民の目に触れることはなくなるのか。文章をもう少し推敲した方が分かりやすくなるので、修正した方がいいと考える。

⇒ 事務局より回答

会議資料として市のホームページには掲載する。表現については分かりやすく修正を加えつつ、国に提出する。

資料 2-1 P5 「2. の目標・効果の評価手法及び測定方法」について、予約式乗合タクシーの満足度も把握すべきではないのか。

⇒ 事務局より回答

地域公共交通計画の策定時には市営バスのみを対象として考えていた。しかし、いただいた指摘の通り予約式乗合タクシーの満足度についても把握してサービスに反映していく必要はあると考える。

○ 西内委員（高知工科大学）より意見

予約式乗合タクシーは乗り合うことが重要と考える。利用者の声を集め、サービスの改善に反映していくことが大事と考える。

○ 大北代理出席委員（土佐国道事務所）より質問

資料 2-1 P3 の目標 6 について、① のいち・かがみ線の目標利用者数が実績に対して大きく増加しているのはなぜか。

⇒ 事務局より回答

再編前の山南・徳王子線、西川線、東川線、のいち東部循環線、そしてのいち・香我美線等の重複区間を再編してのいち・かがみ線にまとめている。従って、当該区間を利用していた人数を積み上げて設定しているので大きく増加している。

全員賛成により承認

4. その他

(1) 市営バス・予約式乗合タクシー時刻表冊子について

香南市地域公共交通計画の 119 ページにこの時刻表冊子を作成することが記載されている。また、市営バスだけでなく予約式乗合タクシー、社会福祉協議会が取り組んでいるリフレッシュ移動サロン、高齢者介護課の医療機関送迎サービス事業、香南市福祉事務所の社会参加のための外出支援サービス事業などの記載を加えている。

○ 西内委員（高知工科大学）より質問

これは冊子のみなのか？ オンラインで見るとは可能なのか？

⇒ 事務局より回答

ホームページ上にデータを公開する。予約式乗合タクシーについてはこの情報だけではわかりづらいと考え、詳細を記載したチラシの配布や地区に入って説明を行っている。

○ 中村委員（のいちタクシー）よりPR（会長より指名）

間もなく試験運行が始まるため、社内的にはいろいろと苦勞もしているが、やってみないと分からないところもある。うまくいくように頑張っていきたい。

○ 山本委員（平和ハイヤー）よりPR（会長より指名）

はじめての事業であり、迷惑をかけてしまうかもしれないが、一丸となって取り組めるようにする。ご協力とご指導をお願いしたい。

○ 山中委員（利用者代表）より意見

10月の再編にて、バス停名称が地区名から病院名称に変わっている。利用者は病院に行く人が多い。話題となることや身近な目的地がバス停名称に変わっているので、良くなると思う。

○ 西内委員（高知工科大学）より意見

目的地がバス停名称になっていることは評価できる。市の公式 SNS などで情報発信していくと良いと考える。

一回の投稿で全てを発信するのではなく、回数を重ねて情報を投稿していくといい。

○ 今西委員（平和観光）よりPR及び意見（会長より指名）

10月1日から新しい系統で運行を開始する。ご指導、ご鞭撻をお願いしたい。

明日から1ヶ月をかけて乗務員に研修させ、運行経路等について周知する。

一点だけ意見させてほしい。これまで地域公共交通会議にて、乗務員の休憩場所確保についてこれまで訴えてきた。会社に休憩場所はあるが、基点であるのいち駅や夜須駅から移動しないとイケない。バス車内で食事する現状ではなく、休憩場所確保の検討をお願いしたい。

⇒ 会長より回答

休憩場所確保についてすぐには難しいが、検討していきたい。

○ 吉田委員（利用者代表）より質問

市役所職員でバスを使って通勤している人はゼロであった。現在はどうか？

⇒ 事務局より回答

毎日の利用ではないが、回数券を購入する職員がおり、利用していると認識している。

⇒ 会長より回答

せっかくのバス路線であるので、引き続き周知を行っていきたい。

開会（15:05）